

たちとちぎ

JA全農とちぎ 通信

2024

4

Vol.277



特集

県本部長 ご挨拶

副本部長 就任のご挨拶

副本部長 退任のご挨拶

令和6年度 全農栃木県本部 機構図

令和6年度 子会社・関連会社 機構図

トピックス

令和5年度技能コンテストを開催

地元の高校生がとちぎ和牛をPR!

第49回とちぎ和牛枝肉共励会

CONTENTS

- ・お知らせ
栃木米を食べて当てよう!
春のスミリーキャンペーン
- ・簡単レシピ
『身欠きにしんと竹の子の煮物』
- ・子牛市場情報
- ・令和6年3月31日付退職者のご紹介
- ・行事予定
- ・編集後記



©栃木県 とちまるくん

JAグループ栃木/JA全農とちぎはSDGsが目指す社会の実現に貢献しています

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



県本部長 ご挨拶

令和6年度を迎えて

全国農業協同組合連合会 栃木県本部

県本部長 中 村 昌 文



本県本部の事業運営につきまして、日頃より特段のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

令和6年度を迎えるにあたり、ご挨拶申し上げます。

最初に、本年3月1日に本稼働しました「JA全農とちぎ青果物広域集出荷センター」に出荷いただいた青果物の販売代金につきまして、事務処理の混乱やシステムの不具合等により、精算遅延が発生いたしました。このような事態を引き起こしたことにつきまして、県本部長として重く受け止めており、生産者及びJA、関係者の皆様に深くお詫び申し上げます。1日も早い遅延解消に取り組むとともに、再発防止策を徹底し、生産者の皆様に安心して利用いただける施設を目指してまいりますので、何卒ご容赦賜りますようお願い申し上げます。

さて、国際情勢の不安定化や気候変動などにより、食料の安定生産・安定供給に対する国民の意識や関心が高まっています。

一方で、農業分野においては、世界経済の回復や円安などにより生産資材価格が高止まりしていますが、コスト上昇に応じた価格転嫁ができず、生産者の経営は厳しい状況が続いています。

このような中で、全農栃木県本部としては、全職員が食と農に貢献することに使命感と誇りをもって、「現場」を基本に、農家組合員目線で事業を遂行してまいります。

特に、生産基盤の維持・拡大を引き続き最重要課題と位置づけ、JAと一体となって担い手への対応強化や新規就農支援、スマート農業の普及・推進、生産性向上やコスト低減などの取り組みを深化・拡充させてまいります。

また、環境に配慮した農業に適切に対応するとともに、物流の2024年問題をはじめ、新たな課題や多様なニーズに迅速かつ的確に対応してまいります。

販売面では、消費地に近い優位性を生かし、契約販売の拡大など生産者の所得向上につながる取組みを拡充するとともに、再生産可能な販売価格の実現に継続して取り組んでまいります。

なお、本年は需要に応じた主食用米の生産とJAグループへの結集が非常に重要になります。生産者の協力により、現在主食用米の需給は改善し、5年産米の価格は回復傾向にありますが、6年産米で主食用米への作付け回帰があれば再び需給は緩和し、価格の下落を招きかねません。引き続き、JA及び県・関係機関と連携して、作付参考値を踏まえた生産・集荷対策を強化してまいります。

さらに、本年四半世紀ぶりに見直される食料・農業・農村基本法に対応した生産振興に取組み、持続可能な農業、稼げる農業を実現してまいりたいと思います。

今年度は、本会として今次中期3か年計画の最終年度であり、仕上げの年となります。「持続可能な農業と食の提供のためにはなくてはならない全農であり続ける」ために策定した、生産基盤の確立をはじめとする事業戦略・重点実施策の達成に向けて、JAグループ栃木の総合力と組織力を結集し、農家組合員・JAの負託に応えてまいり所存であります。

引き続き、本会事業へのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

以上

副本部長 就任のご挨拶

全国農業協同組合連合会 栃木県本部

副本部長 金 田 豊



本県本部の事業運営につきまして、日頃より特段のご理解・ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

このたびの定期人事異動により副本部長を拝命いたしました。担当させていただく部門は、管理部・営農販売企画部・生産資材部・生活事業の4部門となります。農業・JAグループを取り巻く情勢が一段と厳しさを増し、本会に対する期待が高まる中、副本部長としての職責の重大さを考えると身の引き締まる思いであります。

現在、生産の現場では高齢化や後継者不足により、生産基盤の弱体化が懸念されています。さらには、ロシアのウクライナ侵攻、イスラエル・パレスチナの武力衝突や円安等による生産資材価格の高止まり、そして地球温暖化による農作物への影響等が、生産者の農業経営を圧迫しております。

また、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立を実現させるため、国では「みどりの食料システム戦略」、本県では「とちぎグリーン農業推進方針」が策定されています。環境問題に対する社会的責任の位置づけが高まっている中、農業の持続的な発展に向けて、環境負荷軽減と収益性の向上を共に両立する農業生産が求められています。

まさに日本の農業はかつてない大きな転換期を迎えており、生産者が夢と誇りを持って営農に専心できるよう、JAグループの総力を再結集し、生産振興と販売力の強化・生産コスト削減の取組みをさらに拡充させ、生産者の所得増大と農業生産基盤の拡大、地域の活性化の実現に向けてスピード感を持って取り組んでいく必要があります。

栃木県本部は、「専門性と総合力を発揮し、活力ある『産地とちぎ』を未来へつなぎます！」をスローガンに、各部門における2030年のめざす姿を「栃木県本部2030年ビジョン」として昨年度に策定しました。このビジョンの実践を通じて、県内生産者・JAの負託に応え、持続可能な農業と食の提供のために“なくてはならない全農”を目指してまいります。

経営理念を揺るぎない軸として、生産者・消費者双方から信頼される「産地とちぎ」を確固たるものにするために、環境変化には柔軟かつ迅速に対応し、前例を踏襲することなく見直すべきは見直したうえで常にチャレンジするという強い信念をもって、全力で職務を遂行し、農業の未来を切り拓いてまいる所存であります。皆様方の一層のご指導・ご支援賜りますようお願い申し上げます、就任のご挨拶とさせていただきます。

以上

副本部長 退任のご挨拶

全国農業協同組合連合会 栃木県本部

前副本部長 古澤 伸 明



陽春の候、JAならびに関係機関・団体、会社の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、3月末をもって副本部長を退任し、栃木県本部を退職いたしました。在任期間中は、皆様方の一方ならぬご指導とご支援を賜り深くお礼申し上げます。

副本部長を担当しましたこの5年間を振り返ってみますと、4年前からのコロナウィルス禍は、我々の事業や日常生活に大きな影響をもたらしました。肥料、飼料、燃料等の資源価格や穀物価格は、ロシアのウクライナ侵攻の影響も相俟って、世界的に大幅に高騰しました。これにより農畜産物生産コストは大幅に高騰し、生産者の経営に大きな影響を及ぼしました。

また、主食用米の業務用需要は大きく減少し、本県産主食用米の過剰在庫は、最大で約4万トン積み上がりました。それに伴い2年産米共同計算収支は赤字となり、3年産米のJA概算金は大きく下落しました。この過剰在庫を解消するため、JAグループ栃木は大規模な作付け転換を推進する一方、国の特別枠や周年供給事業を最大限活用しながら、3年かけて過剰在庫の解消に努め、5年産米のJA概算金は大きく回復しました。

肥料価格の高騰については、令和3年春肥価格の期中改定を余儀なくされましたが、肥料共同購入積立金の取り崩しや、値上げ前の前倒し生産・供給、更には価格高騰対策を実施しました。

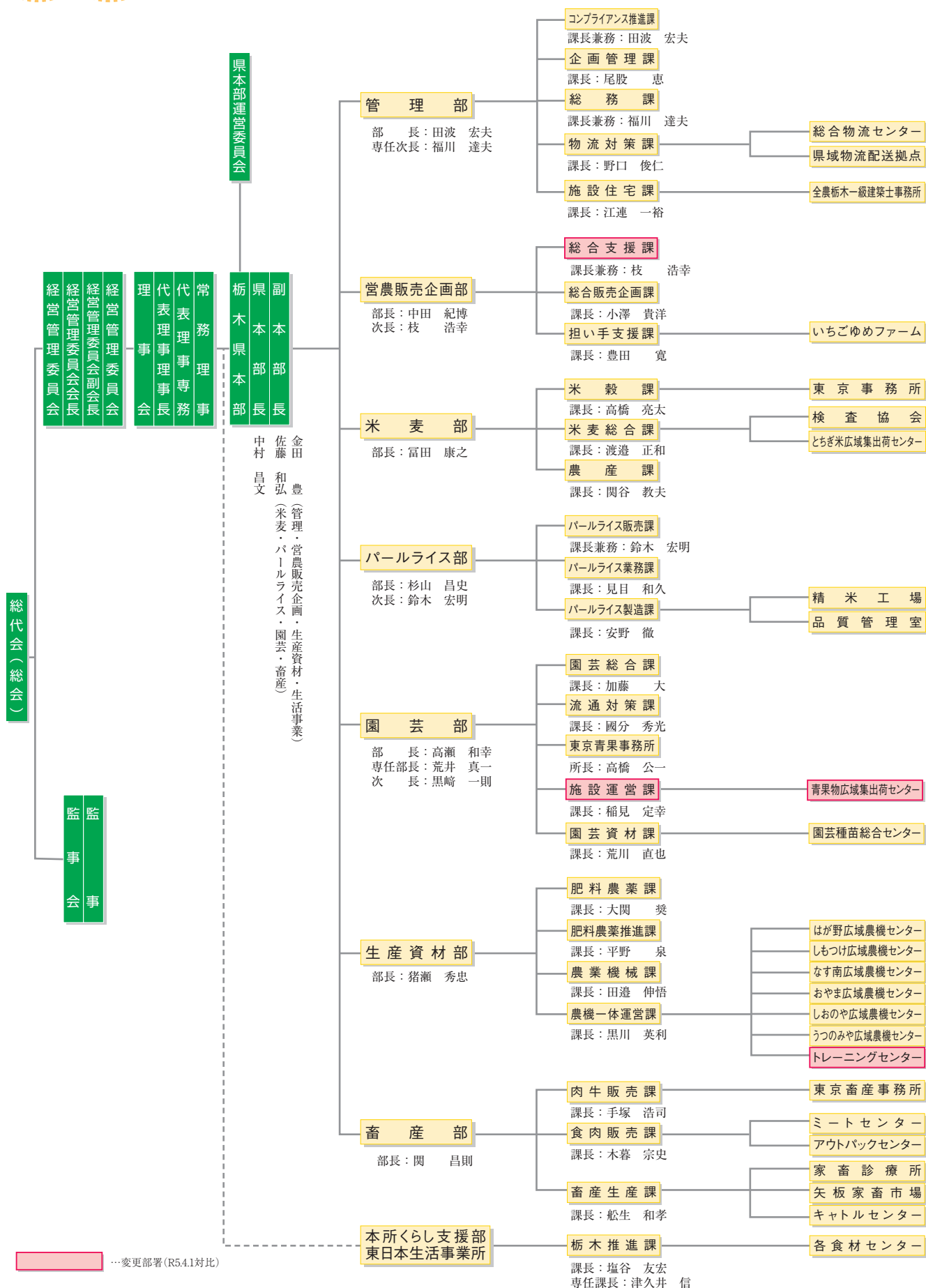
JAの農機事業改革については、生産者に対する農機事業サービスの向上と農機センターの経営改善に向けて、新たに3JAにおいて農機事業の広域一体運営方式への移行を実現しました。また、パールライス事業の再編検討など、事業改革に鋭意取り組んで参りました。改めてご協力いただきましたJAや関係機関の皆様に感謝申し上げます。

今後も本県本部は、生産者に対し、最も効率的な事業体制を構築するために、事業毎にJA、県本部、子会社との機能分担の見直し検討をすすめ、最適なサービスを提供していきます。稼働して間もない全国初の5JA参画による青果物広域集出荷センターの取り組みは、まさに営農経済事業改革の取り組みそのものであります。本県本部は変わりゆく事業環境変化を的確にとらえ、JAとの連携のもと事業改革を実行しながら、今後も生産者、JAの負託に応え続けていくと確信しています。

なお、小職は4月1日より株式会社JAグリーンとちぎに転籍しました。物流の2024年問題への対応や、肥料やハウス資材のコスト低減が求められている中で、引き続き生産者、JAの負託にこたえられるよう精一杯取り組んでいく所存ですので、引き続きご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

以上

(令和6年4月1日現在)

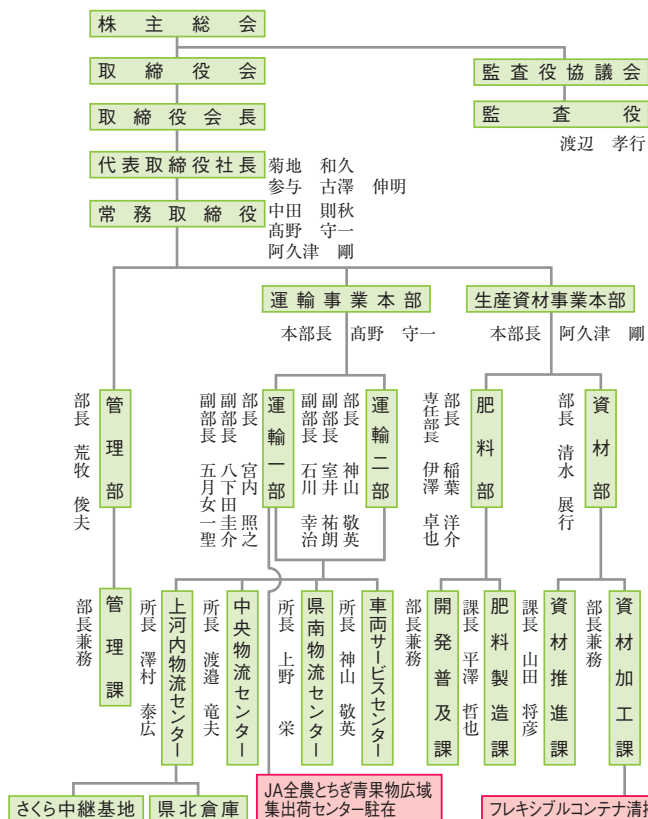


特集

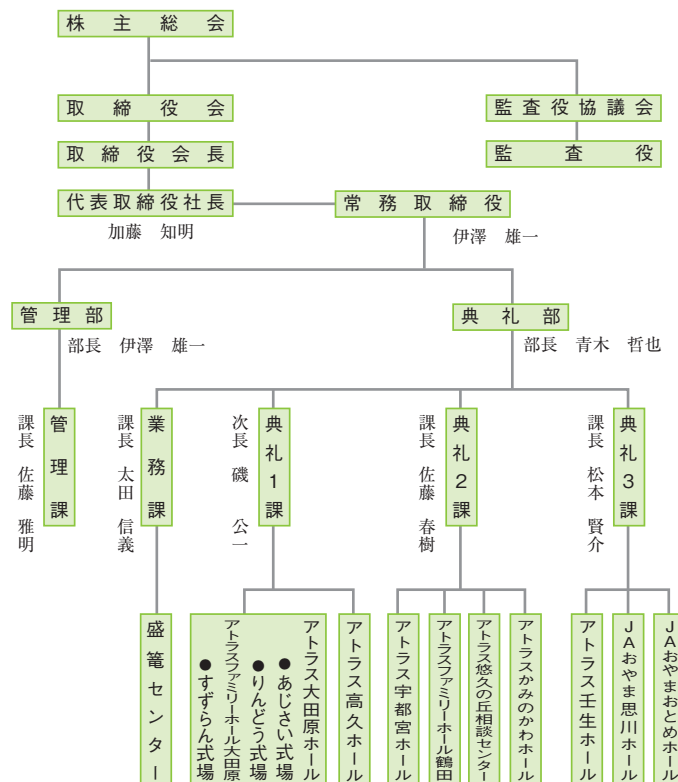
令和6年度 子会社・関連会社 機構図

(令和6年4月1日現在)

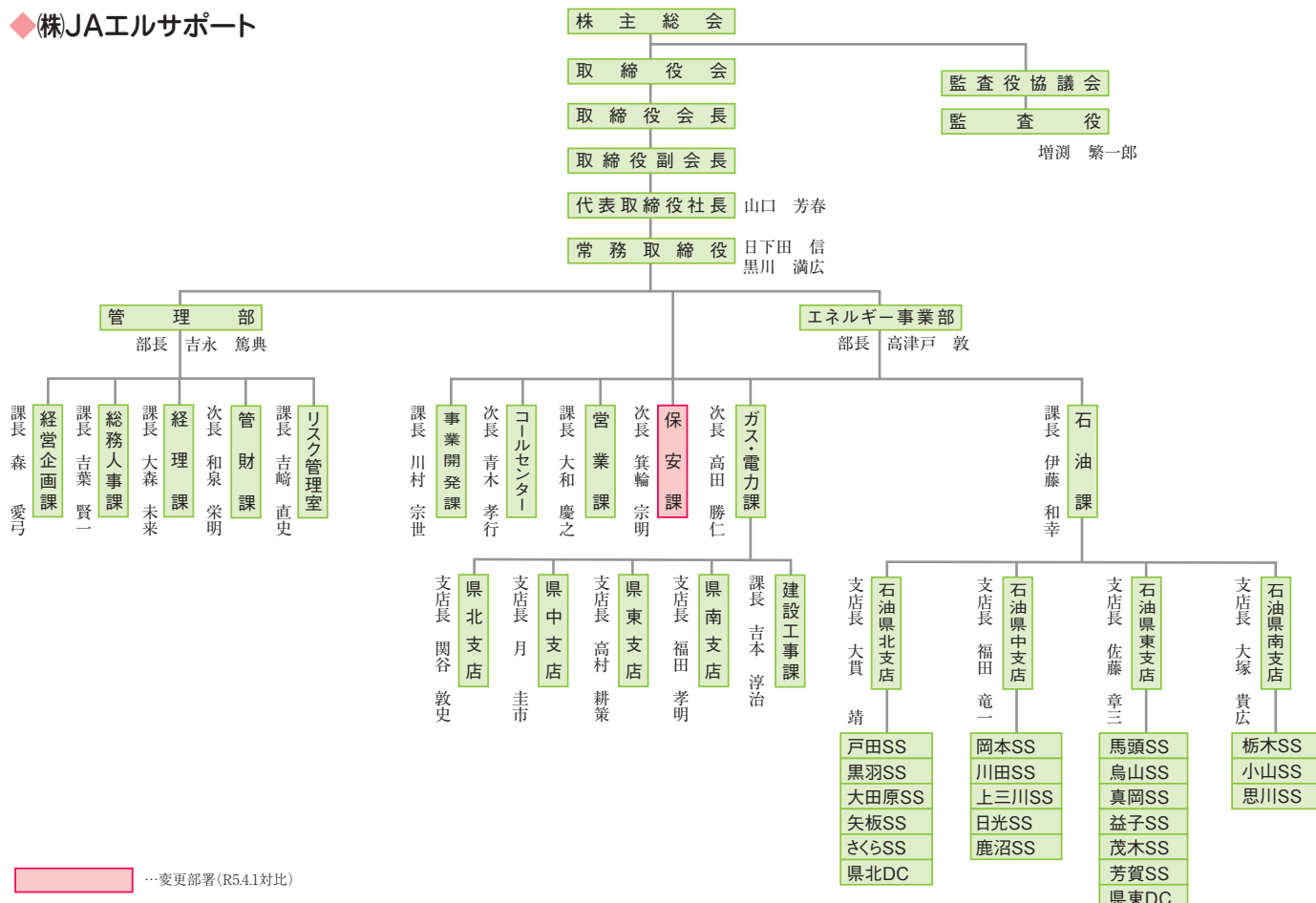
◆(株)JAグリーンとちぎ



◆(株)ジェイエイ栃木ライフ



◆(株)JAエルサポート



…変更部署 (R5.4.1対比)

令和5年度技能コンテストを開催



しもつけ広域農機センター 福田涼太さん最優秀賞

生産資材部は2月21日(水)、農機担当職員の士気と技術力向上を図るため、「令和5年度技能コンテスト」を開催しました。各広域農機センターの農機業務経験5年未満の若手職員7名が参加し、日頃の業務で得た技術レベルを競い合いました。

競技は「セーフティーローダー荷台へのコンバイン積載」と「荷台に載せられたコンバインへのロープ掛け固定」の2種目で実施し、各広域農機センターのセンター長らによって「安全」「丁寧」の視点で審査が行われました。

審査の結果、しもつけ広域農機センターの福田涼太さんが最優秀賞を獲得しました。福田さんは「周囲の指導のおかげなので感謝したい。今度は自分が組合員に感謝されるような仕事ができるよう、頑張りたい」と話しました。



最優秀賞を獲得した福田涼太さん

地元の高校生がとちぎ和牛をPR！



栃木農業高校の生徒が育てたとちぎ和牛が2月11日(日)にとりせん栃木店で、24日(土)に炭火焼肉もおつか栃木店で販売されました。

とりせんでは、サーロインの厚みが高く評価され、第7回和牛甲子園で見事審査委員特別賞に輝いた和牛も販売されました。

店頭では同校の生徒らが自ら来店客にPRし、購入を呼びかけました。



とりせん



炭火焼肉もおつか

第49回とちぎ和牛枝肉共励会

JAなすの 佐藤和徳さん最優秀賞

畜産部は3月13日(水)、東京都中央卸売市場食肉市場で「第49回とちぎ和牛枝肉共励会」を開催し、県内の各JAから過去最多となる77頭が出品されました。

とちぎ和牛「匠」(BMS10以上・A等級)の発生率が7割を超えるハイレベルな共励会となり、審査は難航しましたが、JAなすのの佐藤和徳さんが見事、最優秀賞を獲得しました。おめでとうございます！受賞者は以下の通り。(敬称略)



最優秀賞を獲得した佐藤和徳さん

	受賞者	管内JA
最優秀賞	佐藤 和徳	JAなすの
優秀賞1席	野澤 栄	JAうつのみや
優秀賞2席	伊藤ファーム	JAおやま
優秀賞3席	平久井 順一	JAしおのや
優良賞1席	松本 昭二	JAおやま

	受賞者	管内JA
優良賞	(有)加藤牧場	JAなす南
優良賞	青木 正	JAかみつが
優良賞	ウエルシーファーム	JAなすの
優良賞	猿山 芳昭	JAしもつけ
優良賞	(株)若菜畜産	JAしもつけ

お知らせ

栃木米を食べて当てよう！

春のス^{マイ}米リーキャンペーン

毎年恒例の春の栃木米キャンペーン！今年は「春のス^{マイ}米リーキャンペーン」と題したキャンペーンを開催します！S賞には「栃木米アンバサダーU字工事と稲刈り・温泉ツアー」、A賞にはNintendo Switchなど豪華景品をご用意いたしました。皆様のたくさんのご応募をお待ちしております！

実施期間 2024年4月1日(月)～7月15日(月) (※対象商品は店舗ごとに順次発売となります)

対象商品 栃木県産コシヒカリ「とちほのか」・なすひかり・とちぎの星・あさひの夢など(各商品 5kg・10kg) ※無洗米を含む

応募方法 対象商品に貼付してあるシールをめくって中面のQRコードを読み込み、応募フォームにてご希望の賞・氏名・年齢・郵便番号・住所・電話番号・お買い上げ店名を記入し、ご応募ください。

応募締切 2024年7月15日(月) まで

当選商品 S賞…U字工事と稲刈り・温泉ツアー ……10組40名様
A賞…Nintendo Switch(有機ELモデル) …… 10名様
B賞…とちぎ和牛(焼肉用)400g …… 50名様
C賞…オリジナルクオカード(3000円分) …… 150名様



詳細はこちらから



シール見本



このPOPが目印です！

身欠きにしんと竹の子の煮物



ポイント！



栃木推進課 管理栄養士
高橋雲世さん

春に旬を迎える竹の子は独特の香りとシャキシャキした食感が特徴的です。竹の子には、不溶性食物繊維であるセルロースが豊富に含まれており、便秘の予防・改善にも効果的です。

(アドバイス表2023年4月魚コースP17)

〈材料〉(2人分)

- ・身欠きにしん …… 2枚 (150g)
- ・竹の子(下処理済み) …… 300g
- ① 〔・水 …… 2カップ
・和風だしの素 …… 小さじ1〕
- ② 砂糖・酒・しょうゆ …… 各大さじ2
- ・絹さや …… 4枚

■作り方■

- ① 身欠きにしんは3cm幅に切る。竹の子は食べやすく切る。絹さやは塩茹でする。
- ② 鍋に①、竹の子、にしんを入れて火にかけ、落とし蓋をして煮込む。
- ③ 沸騰したらアクを取り、②を加えて煮汁が少なくなるまで煮る。
- ④ 器に盛り付け絹さやを飾る。

ふれあい食材についてはこちらから！





子牛市場情報

令和5年度3月矢板家畜市場成績書

	性別	上場頭数	成立頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重(日令)	単価(kg)	前回比
1日	雌	165	161	1,104,400	114,400	525,014	297(297)	1,764	20,534
	雄	—	—	—	—	—	—	—	—
	去勢	219	217	1,034,000	343,200	709,388	325(296)	2,178	19,582
	合計	384	378	1,104,400	114,400	630,858	313(297)	2,011	25,333
2日	雌	163	158	1,325,500	151,800	503,681	293(299)	1,714	-56,226
	雄	—	—	—	—	—	—	—	—
	去勢	198	193	1,046,100	266,200	702,421	331(297)	2,118	12,385
	合計	361	351	1,325,500	151,800	612,960	314(298)	1,948	-19,465
3月期合計	雌	328	319	1,325,500	114,400	514,448	295(298)	1,740	-14,495
	雄	—	—	—	—	—	—	—	—
	去勢	417	410	1,046,100	266,200	706,108	328(296)	2,150	16,198
	合計	745	729	1,325,500	114,400	622,240	314(297)	1,981	4,664
概況	3月の矢板家畜市場は、745頭上場にて729頭が成立し、前年同月比40頭増となりました。平均価格は対前月比雌-14,495円減、去勢16,198円増となりました。軟調な枝肉相場が続く中、素牛需要は底堅く、保ち合いの相場展開となりました。								
	購買者数 1日目：144人 2日目：141人								

○次回開催/2024年4月1日～2日 出場予定:各350頭(2024年5月の開催は、7日・8日です。)

令和6年3月31日付退職者のご紹介

お世話になりました。

	氏名	所属	
総合職	古澤 伸明	副本部長	転籍(株)JAグリーンとちぎ
	永山 登	(株)JAグリーンとちぎ出向	定年退職
	米山 弘人	(株)JAグリーンとちぎ出向	定年退職 4/1付再雇用
	園部 達朗	(株)JAグリーンとちぎ出向	定年退職 4/1付再雇用
	久保 芳宏	(株)JAエルサポート出向	定年退職 4/1付再雇用
	生井 博之	(株)JAエルサポート出向	定年退職 4/1付再雇用
	鈴木 庄治	栃木県米麦改良協会出向	定年退職 4/1付再雇用
	石崎 豊	(株)栃木県畜産公社出向	転籍(株)栃木県畜産公社
	中山 雅仙	(株)JAグリーンとちぎ出向	定年退職
	上澤 佳子	園芸部 園芸総合課	定年退職 4/1付再雇用
	佐藤 広志	(株)JAエルサポート出向	定年退職 4/1付再雇用
技能職	山口 功	パールライス部 パールライス製造課 精米工場	定年退職
嘱託	廻谷 寿久	米麦部 米麦総合課 検査協会	期間満了

4月の行事

- 1日(月) 矢板子牛市場 畜産部
- 2日(火) 矢板子牛市場 畜産部
- 11日(木) 県本部運営委員会

編集後記

4月になり、新年度を迎えました。引き続き、本誌を担当させていただくことになりましたので、今年度もどうぞよろしくお願いいたします！

春らしい暖かい日が続いていますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか？私は寒い時期引きこもっていた分まで、外をフラフラと散歩して体を動かすようにしています…！

新年度で何かとお忙しい時期ですが、健康第一で今月も頑張りましょう😊 (ミウ)

●CRT栃木放送「今朝も元気でいってらっしゃい」
4月2日(火) 7:33～7:38(5分間)

●RADIO BERRY FM栃木「Do You 農? たちつとちぎ」
4月3日・10日・17日・24日(水) 17:15～17:20(5分間)

食 べ る こ と が 一 番 の 応 援 。

全農所属 石川佳純

買う人は安い方がいい。
売る人は高い方がいい。

立場が変われば、
価格に対する気持ちは変わる。

それでも絶対に変わらない確かなこと。
それは、楽な仕事はないということ。

食べる人に喜んでほしいという想いで
雨の日も雪の日も、
朝早くから畑へと足を運ぶ人がいます。

そんな野菜たちが
今あなたの元へと届けられていきます。

食べることが一番の応援。

Think Sustainable Price

全農

ZEN NOH



この印刷物は環境にやさしい植物油
インクと再生紙を使用しています。



私たち全農グループは、**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋**になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。